



岡山市区づくり推進事業助成申込書

(地域活動部門)

平成29年 1月20日

岡山市長 大 森 雅 夫 様

フリガナ ヒライガックチイキヅクリカイギ
団体名 平井学区地域づくり会議
所在地
連絡先
フリガナ
代表者氏名

※ 提出した申込書の内容が、岡山市のホームページ上で公開されることに同意します。
ただし、個人情報に関する部分は除きます。

応募分野	(該当の分野を○で囲んでください。) ☒ ア 地域課題解決 ☒ イ 地域課題掘り起し ウ 地域計画づくり エ 地域課題解決型の地域組織づくり オ その他
事業名称	地域づくり会議の運営と事業展開
事業実施区域(小学校区)	平井小学校区
事業実施回数	新規 ・ ☒ 継続 3回目 / 【平成27年度から】
課題	昨今、人間関係の希薄化が顕著となり、地域が抱える様々な問題も地域コミュニティの崩壊が原因と言われている。当学区も同様の傾向にあり、平井学区を住み良い街、笑顔で暮らせる街にするためには、地域主体の「地域づくり」が必要と考えた。その取り組みの第一歩として、地域の各種団体が幅広く連携し、地域課題の共有や課題解決策を協議する場が必要と考え「地域づくり会議」を設立した。 同会議で、各種団体が把握している地域課題のアンケート調査を行った結果、高齢者に関する課題が最も多く高齢者対策の検討を最優先し、平成27年度に「高齢者対策専門部会」を立上げた。同部会では認知症予防対策の一環として「オレンジカフェひらい」を立上げ、平成28年10月から運用を開始した。 また、住民主体で街づくりに取り組んでいる先進地の視察から、地域課題の解決と地域資源を活かした事業活動を行うためには、地域住民のニーズ調査の重要性を認識し、平成28年度に「地域課題・ニーズ調査専門部会」を立上げた。現在、調査範囲を子育て世代に絞り込み、調査項目や調査内容及び調査手法などについて検討を重ねている。 今後も地域課題の掘り起しや課題解決策の継続検討及び具体的な事業検討を行う予定であるが、地域づくり会議を安定的に運営し、事業展開を行うための担い手の獲得や資金調達など、さらなる基盤整備と地域課題に対応した新たな事業や新サービスの創出が必要と考える。

事業の目的と目標	【事業の目的】 地域づくり会議は、地域に密着した情報の共有や課題解決の場とし、課題解決に向けた話し合いや方向付け、支援体制等を総合的に調整し推進することにより、地域で支え合い、安全で安心して笑顔で暮らせる平井学区を目指すことを目的としている。 【平成29年度の事業目標】 (1) 高齢者対策専門部会は、認知症予防対策事業について継続検討を行う。 認知症の早期発見を目的に、認知症検診の呼びかけや認知症の理解と予防のための講話活動などの具体策を検討し、事業活動の具現化に繋げる。 尚、認知症カフェ（オレンジカフェひらい）は、月1回の開催を継続する。 (2) 地域課題・ニーズ調査専門部会は、子育て世代が抱える課題とニーズ調査の分析結果から検討テーマを絞り込み、その解決策検討と支援の仕組みづくりなどの事業内容を検討し、具体的な活動計画を策定する。
事業の内容と活動計画	地域づくり会議は、事業目的を達成するため、次の事業を継続して行う。 ① 地域情報の現状把握（地域情報の集約と共有） ② 地域課題の掘り起しと地域課題の共有 ③ 課題解決策の検討と支援体制の仕組みづくり ④ 専門職とのネットワーク構築と連携 ⑤ 地域住民への広報及び啓蒙活動 ⑥ 新たなサービス構築の検討 等 平成29年度の事業目標を達成するため、次の活動を主に実施する。 (1) 認知症予防対策事業の継続検討（高齢者対策専門部会） ・地域の医療・福祉関係者等との支援ネットワークを構築する ・医療機関等と協働による認知症の早期発見方法や認知症検診の啓発活動等を検討する ⇒タッチパネル体験コーナーの設置と検診呼びかけ等の実施 ・認知症予防の普及啓発活動を検討する ⇒いきいきサロン等、高齢者が集う活動場所へ出前講座実施 ・認知症予防教室開催について検討する ⇒予防教室検討スタッフによる先進地域視察（例：鳥取県琴浦町） (2) 子育て世代の課題とニーズに対する対応策の検討 （地域課題・ニーズ調査専門部会） ・子育て世代の課題とニーズ調査の分析結果から検討テーマを選定する ・選定テーマの対策事例の調査と先進地域視察等の検討を行う ・協働可能な組織・団体を調査検討し、事業内容を共同で検討する ・事業計画を策定し、策定した事業の試行と評価を行う 等

期待される成果	・地域づくり会議の構成委員は、各種団体の代表者から構成されており、議論された内容や方針など所属する団体へ周知することにより、学区一丸となって地域課題に取り組むことが出来る。また各団体の代表委員は、団体から推薦された代表者であり、団体の後継者や若手の育成にも繋がる。 ・行政機関等から地域の各団体に対する対応要望・要請内容は、団体によって偏りがあり負担も大きくなっているが、本会議の協議により他団体への支援調整等が行える。 ・事業運用に当たり、地域住民のボランティア参加や支援を得ることにより、地域づくりへの参加意識が浸透し地域づくりの輪を広げることが出来る。 ・地域課題の取り組みに行政機関や地域の関係機関の専門職の支援を受けることにより、各分野の専門職との新たなネットワークの構築と連携が可能となる。 ・協働可能な組織・団体と連携し、事業内容を共同で検討することにより、ノウハウの共有と効果的な事業策定が期待出来る。 ・本会議の活動内容をPRすることにより、地域主体の地域づくりや地域コミュニティ再生等の重要性を地域住民にアピールすることが出来る。
企画などの工夫	・地域の各種団体から推薦された団体代表者によって構成する会議体を組織し、会議運営を行う。 ・地域づくり会議で議論された課題やテーマに応じて、専門部会を発足させ、同部会で具体検討を行う。 ・検討する議題やテーマにより、地域関係機関の専門職とのネットワークを構築し、連携する。 ・専門部会で検討された課題解決策や対策事業の計画などは、地域づくり会議に諮り、審議する。同プロセスにより、効率的な会議運営を行う。 ・専門部会にて、課題対応策の検討に当たり、課題やテーマに応じて先進団体や先進地域へ視察を行い、事業内容や事業計画策定の参考とする。 ・事業展開前に事業の試行を行い、事業内容の点検評価を行う。評価結果により発見された改善点を是正する。 ・学区発刊の新聞や学区ホームページに掲載し、活動内容をPRする。また、地域づくり会議発行のちらしを作成し、活動内容をアピールする。
協働する団体等	(1) 認知症予防対策事業の協働団体（想定） ・山陽学園大学・山陽学園短期大学 ・井村医院 ・岡山旭東病院 ・岡山市認知症疾患医療センター（岡山赤十字病院） ・岡山市ふれあい介護予防センター 等 (2) 子育て世代の課題とニーズ対策事業の協働団体（想定） ・東山中学校区及び平井小学校区の学校園 ・山陽学園大学・山陽学園短期大学 ・NPOみんなの集落研究所 等

事業の 情報公開	・ ちらしの作成と世帯配布 地域づくり会議発行 ・ 学区発刊の新聞に掲載 連合町内会だより ・ 学区ホームページに掲載 電子町内会(学区内外への情報発信) ・ 各種団体の発刊誌に掲載 地区社協、地区民児協、学区愛育委員会
学区地区への広がり	
前年度からの見直し拡充点	(1) 認知症予防対策事業 ・ 認知症予防対策の一環として「オレンジカフェひらい」を立上げ、事業化を図った。また、認知症予防対策事業の先進地の鳥取県琴浦町に事業視察を行い、今年度は、地域の医療機関等と協働し、認知症の早期発見方法の検討、認知症検診や認知症予防の普及啓発等を検討し、事業化に繋げる。 (2) 子育て世代の課題とニーズ対策事業 ・ 地域課題・ニーズ調査専門部会を立上げ、子育て世代が抱える課題とニーズ調査を実施。今年度は、同調査結果から協働可能な組織・団体と解決策や支援の仕組みづくりなどの事業内容を共同で検討し、事業の試行と評価に繋げる。
次年度以降の予定	① 次年度以後の活動計画 ・ 今年度（平成29年度）事業活動のチェック（PDCAmCA） ・ 次年度継続事業の活動計画策定と実行 ・ 地域課題の残課題検討の方向付けと検討 ・ 支援体制の仕組みづくり ・ 新サービス事業の検討と構築 等 ② 資金の確保について ■次年度も区づくり推進事業を申請する予定。 □（ ）年後には、自己資金を確保して地域の独自展開をしていきたい。 ○資金確保の具体的な方策：
その他PRしたい点	・ 学区内の単位町内会・自治会に対し、本会議をモデルケースに地域で支え合う仕組みづくりや町内会の問題をみんなで考たり、話し合うことの重要性を訴求し、単位町内会・自治会へ同様の会議体設立を推進する足がかりとしたい。特に、南海トラフ巨大地震の発生に備え、自主防災会結成数の拡大を図りたい。

事業スケジュール

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
地域づくり会議	マスタースケジュール		▲ 総会承認	▲ 第1回定例 ▲ 監査報告			▲ 第2回定例			▲ 第3回定例			▲ 第4回定例	
	事務局	臨時会&専門部会開催（適宜）												
既存事業		▲												
		認知症カフェ（オレンジカフェひらい）1回/月開催												
事業計画執行スケジュール（案）	高齢者対策専門部会	認知症予防対策支援ネットワークの構築 ↑ 地域の医療・福祉関係機関等と連携検討 ↓ 認知症早期発見方法、認知症検診啓発活動の検討												
	地域課題・ニーズ調査専門部会	認知症予防普及啓発活動の検討 ▲ 先進地域視察 認知症予防教室開催の検討												
		調査結果から検討テーマを選定 対策事例の調査と先進地域視察等の検討 ▲ 先進地域視察 協働連携可能な組織・団体を調査 対策事業の共同検討と事業計画策定 対策事業の試行と検証												

収 支 予 算 書

◆ 収 入

単位:円

項 目	前年度決算見込	予 算	備 考
岡山市補助金	215,000	225,000	(100 円未満の端数切捨て)
実施団体負担金	200,000	225,000	
参加者負担金	15,000		
協賛金			
寄付、他収入			
計	430,000	450,000	

◆ 支 出

単位:円

項 目	前年度決算見込	予 算	備 考
消耗品費	120,000	30,000	
食糧費	30,000	50,000	
印刷製本費	35,000	60,000	
燃料費	5,000	10,000	
通信運搬費	30,000	30,000	
使用料	20,000	40,000	
委託料	150,000	100,000	
報償費	30,000	120,000	
保険料	0	0	
旅費	10,000	10,000	
計	430,000	450,000	

◆概算交付の要否 (いずれかに○をしてください)。(補助金額が20万円を超える場合のみ)

補助金の概算払いを	希望する	希望しない
-----------	------	-------

※「希望する」場合は、その理由を具体的にお書きください

課題・ニーズの対応策や対策事業検討等のアドバイザー代(委託料)、講師・指導者謝礼金(報償費)が、多額となるため補助金の概算払い(前払い)を希望する。

注①:前年度決算額が確定してない場合は、見込み額を記入してください。

注②:支出の費目は、消耗品費・食糧費・印刷製本費・旅費交通費・通信運搬費・謝礼金・会場使用料・保険料など適当な費目に分けて記入し、備考に積算内訳を記載してください。

※記入欄に書ききれないときは、別紙として添付してください。